

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育内容総論						授業形態		
科目コード	750067	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員			アクティブ ラーニング
担当教員名	金子 幸								
授業概要	<p>本授業の目的は、保育内容の歴史の変遷について学び、幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の趣旨を理解し、保育の基本について理解を深めることです。</p> <p>保育は、養護と教育が一体となって展開すること、遊びを通して総合的に指導することが基本であることを理解し、一人一人に応じた支援の在り方について学びます。</p> <p>そのために授業では、演習課題を通して、各自で課題解決を図り、保育者として子どもを支援する視点について考えていきます。</p>								
関連する科目	「保育原理」を事前に受講しておくことが望ましい。履修後は、「幼児理解」を履修することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	授業では、次回の内容に沿った課題を提示します。授業の前半では、授業計画に沿った内容について講義を行い、後半では、各自で取り組んできた課題をもとに、授業内でグループワークを実施し、講義内容の理解を深め、課題解決を図ります。								
授業計画 【第1回】	授業概要の説明および保育者の仕事についての理解 授業概要の説明の後、保育所の役割や保育所における保育内容について学びます。								
授業計画 【第2回】	保育所保育指針に基づく保育の全体構造-養護にかかわる内容 保育所保育指針における「養護」にかかわるねらい及び内容について学びます。								
授業計画 【第3回】	保育所保育指針に基づく保育内容の理解-教育にかかわる内容 保育所保育指針を中心に「教育」にかかわるねらい及び内容について学びます。								
授業計画 【第4回】	保育内容の歴史の変遷とその社会的背景 保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定こども園教育・保育要領の歴史の変遷について学びます。								
授業計画 【第5回】	子どもの発達や生活に即した保育内容の基本的な考え方 乳幼児期の発達過程やそれを踏まえた指導計画の作成について学びます。								
授業計画 【第6回】	養護と教育が一体的に展開される保育 養護と教育が一体になった保育について考えていきます。								
授業計画 【第7回】	子どもの主体性を尊重する保育 子どもを主体にした保育内容について考えていきます。								
授業計画 【第8回】	環境を通して行う保育 環境を通して行う保育・教育について学び、保育者の役割について考えていきます。								
授業計画 【第9回】	生活や遊びによる総合的な保育 乳幼児期の学びとしての遊びについて考えていきます。								
授業計画 【第10回】	個と集団の発達をふまえた保育 個と集団の発達の関連性について学びます。								
授業計画 【第11回】	家庭や地域等との連携をふまえた保育 家庭・地域との連携を通じた保育所における子育て支援について学びます。								

授業計画 【第12回】	小学校との連携・接続をふまえた保育 小学校教育との連携・接続について、保育の視点から考えていきます。
授業計画 【第13回】	乳児保育および長時間の保育 乳児保育の現状と課題について学びます。
授業計画 【第14回】	多文化共生の保育 保育における多文化共生について学びます。
授業計画 【第15回】	特別な支援を必要とする子どもの保育、まとめ 特別な支援を必要とする子どもの保育について学び、全体の総括を行います。
授業の到達目標	1. 保育内容の歴史の変遷について学び、保育内容について理解する 2. 子どもの主体的な活動を保障する環境の設定や遊びを通しての総合的指導法、ならびに保育内容を具体化する指導計画の作成、評価の基本を学ぶ 3. 子どもの生活全体を通して、養護と教育が一体的に展開することを理解する 4. 保育の多様な展開について学ぶ
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	授業計画の当該回の範囲の教科書を事前に熟読し、授業内容を把握する（30分程度） 指定した課題に取り組むこと（1時間程度）
授業時間外の学修 【復習】	授業内で取り組んだ課題について各自の考えをまとめること（30分程度） 授業内で学んだ内容に関連する資料を探し、授業内容の定着を図ること（1時間程度）
課題に対する フィードバック	課題については、授業内でポイントの解説を行います。最終試験は、試験後に解説を行います。
評価方法・基準	1) 定期試験 50点 2) 学習態度・意欲 20点 3) 課題提出 30点
テキスト	『保育所保育指針解説書』（320+税）、厚生労働省編、フレーベル館、2017 『幼稚園教育要領解説書』（240+税）、文部科学省編、フレーベル館、2017 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書』（350+税）内閣府・文部科学省・厚生労働省編、フレーベル館、2017
参考書	『基本保育シリーズ⑮「保育内容総論 第2版」』（2,000+税）、公益財団法人児童育成協会監修、中央法規、2019
備考	